



# ヤフー株式会社 株主通信(Web版)

## 2010年度 第1四半期 決算説明

### < 目次 >

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2010年度第1四半期（4月～6月）業績・・・・・・・・	3
2010年度第2四半期（7月～9月）業績見通し・・・・	7
連結財務諸表の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
当四半期における主な活動・・・・・・・・・・・・・・	13
第15回定時株主総会のご報告・・・・・・・・・・・・	17
参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
組織図およびグループ企業・・・・・・・・・・・・・・	20
株主メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

2010年度第1四半期決算の内容をご報告させていただくためこの株主通信を作成いたしました。株主の皆様の当社に対するご理解を深めていただく一助となりましたら幸甚です。

さて、当四半期におきましては、広告の売上が増加したほか、「Yahoo!不動産」や「Yahoo!リクナビ」などの情報掲載売上の回復基調が強まるなど、前年同四半期に比べて売上を伸ばしました。また、販売促進や広告宣伝など攻める姿勢は維持しつつも、昨年から取り組んできましたコストの効率化により、増益幅も拡大することができました。

当社はこのたび、Yahoo! JAPANの検索サービスにおいて、グーグルの検索エンジンと検索連動型広告配信システムの採用を決定いたしました。

日本国内で非常に人気が高く、その利便性が評価されて利用者の支持を受けているYahoo! JAPANの検索サービスに、定評のあるグーグルの検索エンジンと検索連動型広告配信システムを組み込むことにより、さらにそのサービスの価値を高めるとともに、Yahoo! JAPAN上の他のサービスもより強化し、No.1インターネット総合サービスカンパニーとしての地位をますます確固たるものにしてまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
井上 雅博



# 2010年度第1四半期（4月～6月） 業績総括

リスティング広告、ディスプレイ広告、情報掲載および「Yahoo!ショッピング」関連の売上が増加する一方で、事業運営の効率化によるコスト削減を継続しました。

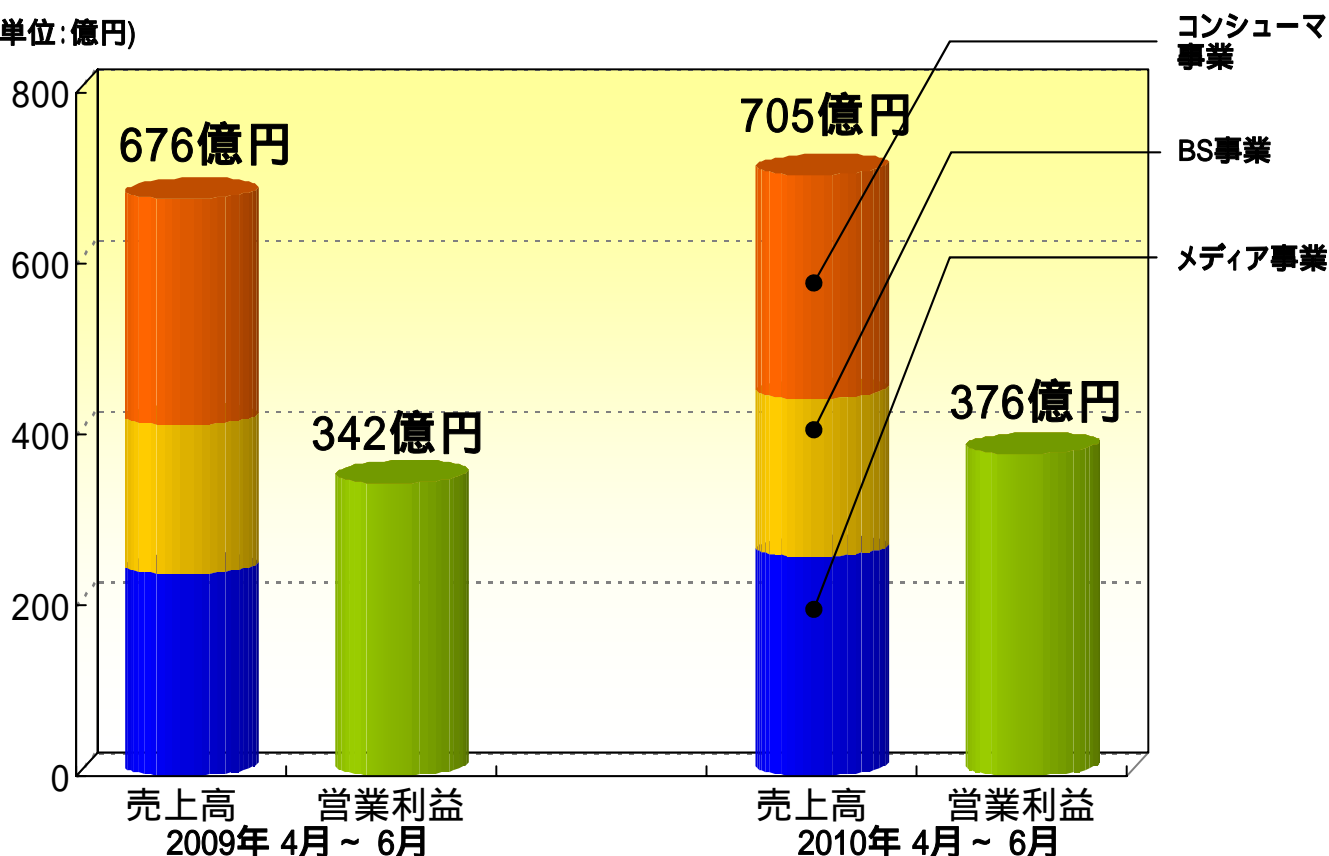
その結果、営業利益・経常利益が約1割、当期利益は約13%の増加となりました。

単位：億円

	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	前年 同四半期比
売上高	676	705	4.2%増
営業利益	342	376	9.8%増
経常利益	340	375	10.2%増
四半期純利益	192	216	12.6%増

## 第1四半期売上高および営業利益(2010年 4月～6月)

(単位：億円)



## 広告会社経由リスティング広告

( 検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」 )

- 前年同四半期比で売上高が増加しました。
- 百貨店・通販・ショッピングモール、旅行・交通・レジャー等のセクターにおいて、大手広告主の出稿が前年同四半期比で大きく増加しました。

## ディスプレイ広告

- 前年同四半期比で売上高が増加しました。
  - 「ブランドパネル」売上が前年同四半期比で増加しました。
- また、不動産・建設、金融・保険・証券等のセクターが好調に推移し、行動ターゲティング広告売上も前年同四半期比で増加しました。
- iPhone向けディスプレイ広告商品の販売を開始しました。

ナショナルクライアントを中心に順調に推移しました。

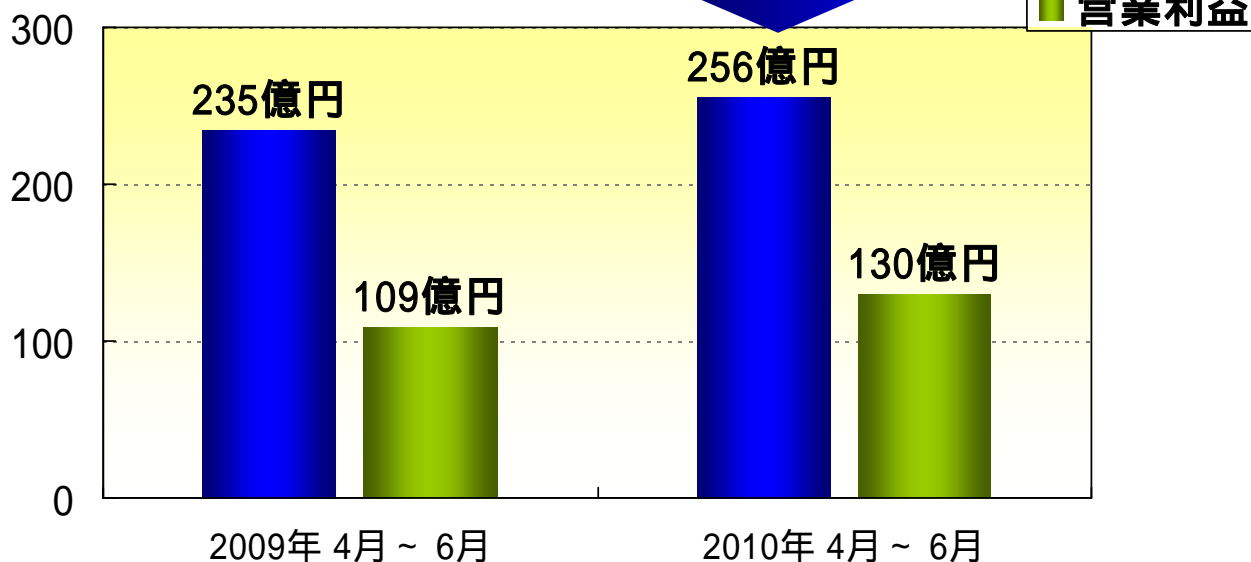
単位: 億円

メディア事業	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	235	256	8.7%増
営業利益	109	130	19.2%増

## 事業別売上高

## 売上高および営業利益

(単位: 億円)



## オンライン経由リスティング広告

( 検索連動型広告「スポンサードサーチ」・興味関心連動型広告「インタレストマッチ」 )

- PC版、モバイル版ともにアカウント数が順調に増加しました。  
広告主への普及が進み、売上高は前年同四半期比で増加しました。

## データセンター関連収入

- (株)IDCフロンティアのクラウドコンピューティング関連収益が増加しました。

## 情報掲載料収入

- 「Yahoo!不動産」、「Yahoo!リクナビ」等の情報掲載関連の売上高が  
前年同四半期比で増加し、回復基調が強まりました。

単位: 億円

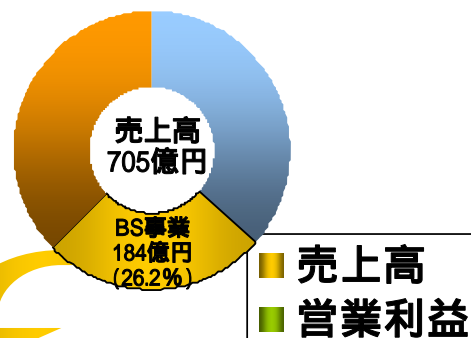
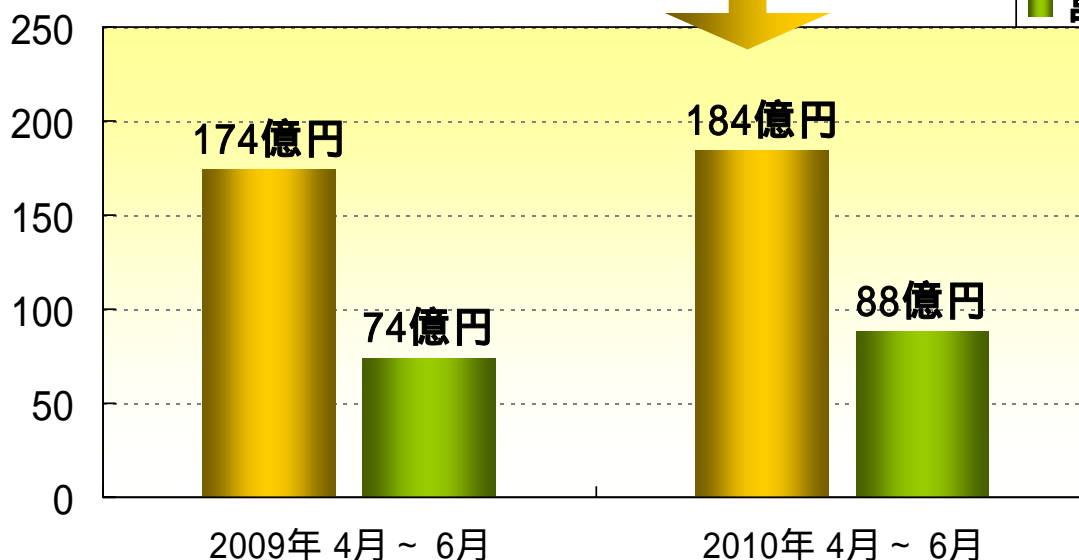
BS事業	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	174	184	5.7%増
営業利益	74	88	19.5%増

BSとはビジネスサービスの略です。

## 事業別売上高

## 売上高および営業利益

(単位: 億円)





# 2010年度第1四半期 コンシューマ事業

## コマース関連（「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」）

- 「Yahoo!ショッピング」では、前四半期に続いてポイント拡大キャンペーンによる誘導等の販促施策を実施しました。  
その結果、四半期における取扱高が前年同四半期比で約2割増加となりました。
- 「Yahoo!オークション」は落札単価が引き続き下落し、取扱高は前年同四半期比で減少となりました。
- 課金デジタルコンテンツでは「Yahoo!ファイナンス」、「Yahoo!ゲーム」等の売上が増加しました。

## 「Yahoo!プレミアム」会員費収入

- 2010年6月末のプレミアム会員ID数は過去最大の760万IDとなりました。

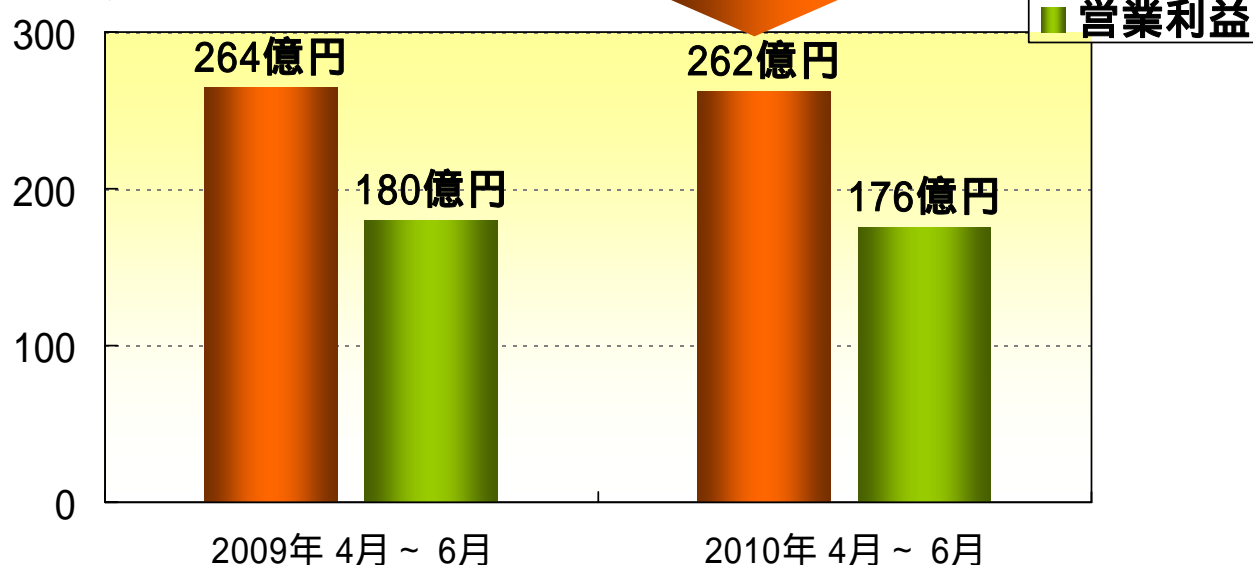
単位: 億円

コンシューマ事業	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	264	262	0.5%減
営業利益	180	176	2.4%減

## 事業別売上高

## 売上高および営業利益

(単位: 億円)





# 2010年度第2四半期（7月～9月） 業績見通し

単位：億円

	2009年度 第2四半期 (実績)	2010年度 第1四半期 (実績)	2010年度 第2四半期 (見通し)
売上高	680	705	690～720
営業利益	344	376	366～386
経常利益	341	375	368～388
四半期純利益	200	216	218～230

当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとの業績発表に併せて翌四半期の業績見通しのみを公表することとしています。

広告関連売上を中心に前年同四半期比での売上高増加に努めます。  
特に、インタレストマッチにおいて、広告の品質を高めるための  
施策を継続しつつ、さらなる売上高増加を目指してまいります。

取扱高の伸びが好調なショッピング関連事業においては、  
引き続き積極的に販売促進活動を行うことにより、  
取扱高を伸ばすよう努めます。

テレビCMを含めた広告宣伝費や販売促進費等を中心に、販売費及び  
一般管理費は前年同四半期比で5～6億円増加する見込みです。





# 2010年度第1四半期損益計算書

単位：億円

	2010年度 第1四半期	2009年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高（億円）	705	676	4.2 %
売上原価（億円）	76	78	-3.1 %
売上総利益（億円）	628	597	5.2 %
販管費（億円）	252	255	-0.9 %
営業利益（億円）	376	342	9.8 %
経常利益（億円）	375	340	10.2 %
四半期純利益（億円）	216	192	12.6 %
EPS（円）	373	331	12.8 %
発行済株式数（期中平均） （万株）*	5,801	5,810	-0.2 %
完全希薄化後 EPS（円）	372	330	12.7 %
完全希薄化後株式数 （万株）*	5,806	5,815	-0.2 %

Point 1

Point 2

Point 3

\* 発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています

< 当四半期の連結損益計算書のポイント >

## Point1：営業外損益

当四半期の営業外収益の主なものは、為替差益および受取利息です。また、営業外費用の主なものは、固定資産除却損および持分法による投資損失です。

## Point2：特別損益

当四半期の特別利益の主なものは、前受金取崩益です。また、特別損失の主なものは、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額です。

## Point3：四半期純利益

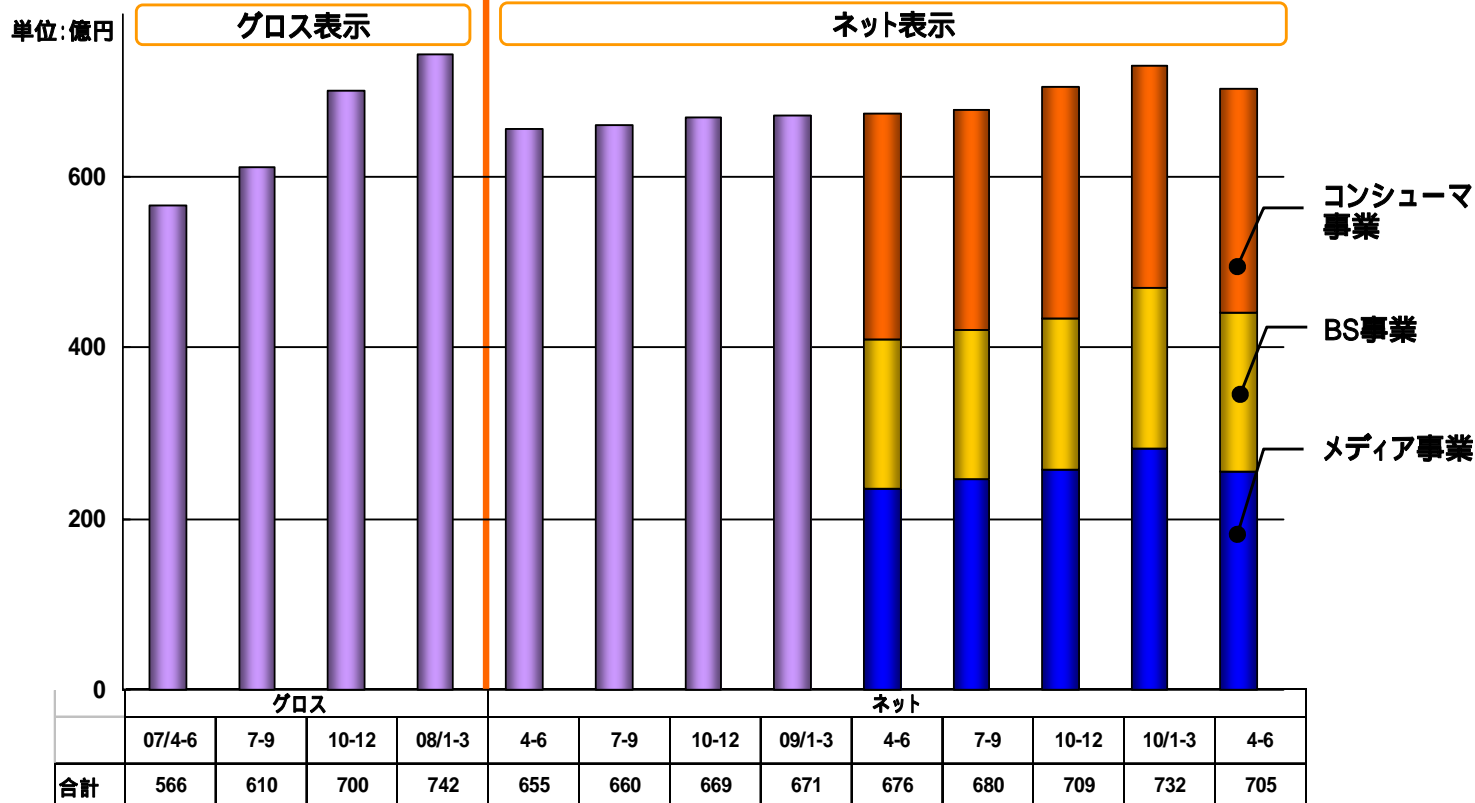
当四半期の1株当たり四半期純利益は373円29銭です。





# 四半期売上高および四半期利益の推移

## 四半期売上高の推移

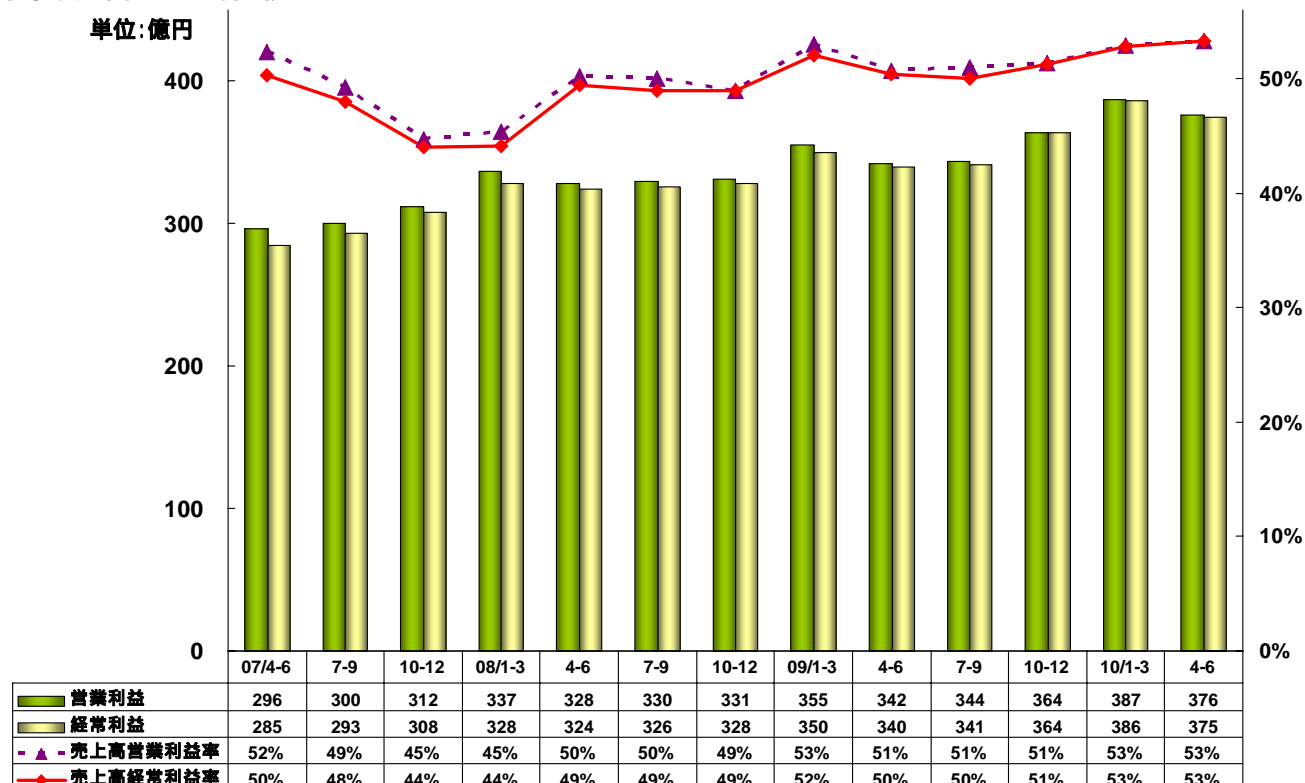


2008年1-3月以前のデータはグロス表示となっています

2010年4-6月より、報告セグメントを「メディア事業」「BS事業」「コンシューマ事業」に変更しています。

尚、2009年度のセグメント別売上高の数値は遡及修正による概算です

## 四半期利益の推移



2008年4-6月以降の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています



## 販管費構成推移

単位：億円

	10/1Q	構成比	09/1Q	前年同四半期比 増減率
人件費	79	31.6%	72	9.6%
業務委託費	32	12.8%	32	-0.3%
通信費	22	9.0%	25	-8.8%
ロイヤルティ	20	8.1%	19	3.9%
減価償却費	19	7.7%	21	-9.5%
情報提供料	16	6.5%	17	-6.5%
賃借料・水道光熱費	15	6.2%	15	0.5%
販売促進費	15	6.1%	14	9.0%
販売手数料	10	4.2%	9	16.3%
維持管理費	5	2.1%	5	-10.5%
租税公課	3	1.4%	5	-30.3%
広告宣伝費	2	1.0%	2	3.5%
のれん償却額	2	0.8%	3	-32.7%
貸倒引当金繰入額	1	0.7%	1	46.8%
その他	4	1.7%	9	-52.6%
販管費合計	252	100.0%	255	-0.9%

Point 1

Point 2

Point 3

Point 4

### < 当四半期の販管費構成のポイント >

#### Point1 : 人件費

当四半期の人件費が前年同四半期と比べて増加したのは、主に賞与および時間外手当が増加したことによるものです。なお、当四半期末における当グループの従業員数は、4,981名と前年同四半期末と比べて36名増加(0.7%増)しました。

#### Point2 : 租税公課

当四半期の租税公課が前年同四半期と比べて減少したのは、主に前年同四半期に事業税の見積り不足額を計上したことによるものです。

#### Point3 : のれん償却額

当四半期ののれん償却額が前年同四半期と比べて減少したのは、主に(株)プレイヤーおよびオーチャア(株)の償却額が減少したことによるものです。

#### Point4 : その他

当四半期のその他の主なものは、旅費交通費、荷造運賃、調査費です。



# 2010年度第1四半期貸借対照表

主な科目	2010年6月末	2009年6月末	増減	単位：億円
<資産の部>				
流動資産	1,879	1,056	823	Point
現金及び預金	1,032	524	508	
売掛金	344	335	9	
その他	474	167	306	
固定資産	2,168	2,176	-7	Point
有形固定資産	278	282	-4	
無形固定資産	143	176	-32	
投資有価証券	1,607	1,580	27	
資産の部合計	4,048	3,232	815	
<負債の部>				
流動負債	857	740	117	Point
短期借入金	-	200	-200	
未払金	121	111	10	Point
未払法人税等	376	137	238	
固定負債	24	3	20	
負債の部合計	881	743	138	
<純資産の部>				
株主資本	3,125	2,455	669	Point
資本金	75	74	0	
資本剰余金	26	25	0	
利益剰余金	3,054	2,356	698	
評価・換算差額等	12	6	6	
少数株主持分	23	23	-0	
純資産の部合計	3,166	2,488	677	
負債純資産合計	4,048	3,232	815	

< 当四半期の連結貸借対照表のポイント >

## 【資産の部】

### Point1 : その他

流動資産のその他が前年同四半期末と比べて増加したのは、主に未収入金の増加および「Yahoo!かんたん決済」にかかわる債権の増加によるものです。なお、未収入金の増加は、主にソフトバンクIDCソリューションズ(株)合併に関する税務処理に係わる追徴税額が発生した場合に、ソフトバンク(株)が株式の取得価額の修正としてこれを当社に支払う旨の契約に基づき、未収入金を計上したことによるものです。

### Point2 : 短期借入金

短期借入金が前年同四半期末と比べて減少したのは、返済によるものです。

## 【負債の部】

### Point3 : 未払法人税等

未払法人税等が前年同四半期末と比べて増加したのは、法人税の更正を受けたことによるものです。

## 【純資産の部】

### Point4 : 利益剰余金

利益剰余金は、主に配当金の支払による減少があったものの、純利益の計上により前年同四半期末と比べ増加しました。



## 2010年度第1四半期キャッシュ・フロー

主な項目	2010年4-6月	単位：億円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-55</b>	<b>Point 1</b>
税金等調整前四半期純利益	365	
減価償却費	22	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	
売上債権・仕入債務	25	
その他流動資産・負債	-19	
法人税等の支払い	-464	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-43</b>	<b>Point 2</b>
定期預金の預入れ	-10	
有形固定資産の取得	-15	
無形固定資産の取得	-5	
投資有価証券の取得	-20	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-268</b>	<b>Point 3</b>
長期借入金の返済	-100	
配当金の支払い	-167	
<b>キャッシュ・フロー増減額</b>	<b>-367</b>	

< 当四半期の連結キャッシュ・フロー計算書のポイント >

### Point1：営業活動によるキャッシュ・フロー

当四半期の営業活動においては、純利益の計上が365億円ありましたが、主に法人税等の支払により55億円の支出となりました。

### Point2：投資活動によるキャッシュ・フロー

当四半期の投資活動においては、主に投資有価証券および有形固定資産の取得により、43億円の支出となりました。

### Point3：財務活動によるキャッシュ・フロー

当四半期の財務活動においては、主に配当金の支払および借入金の返済により、268億円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間において減少した資金は367億円となり、現金及び現金同等物の当四半期末残高は1,012億円(前年同期比96.9%増)となりました。



## 当四半期における主な活動 メディア事業統括本部



### 「Yahoo!スポーツ」

「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会」の開催期間中、特集サイトを公開。前回大会と比較してページビュー数が約2.5倍となるなど注目を集めました。

<http://sports.yahoo.co.jp/>

「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ大会」特集

### 「Yahoo!みんなの政治」

夏の参議院選挙にあわせ、「参議院選挙2010」特集を公開。開票速報のほか、マニフェスト早見表やマニフェストマッチなど、投票に役立つ情報を提供しました。

<http://seiji.yahoo.co.jp/>



「参議院選挙2010」特集



### 「Yahoo! FASHION」

「ELLE ONLINE」、「25ans」(ヴァンサンカン)、「MEN'S CLUB」の情報配信を開始。ファッション&ビューティーの旬な情報を配信しています。

<http://fashion.yahoo.co.jp/>

「Yahoo! FASHION」



## リスティング広告(OLS)

出稿を検討する中小企業向けの説明会を開催したほか、オンライン経由の広告出稿をサポートするオンライン代理店の拡充を図り、さらなる出稿の拡大に努めました。

<http://listing.yahoo.co.jp/index.html?o=JP0035>

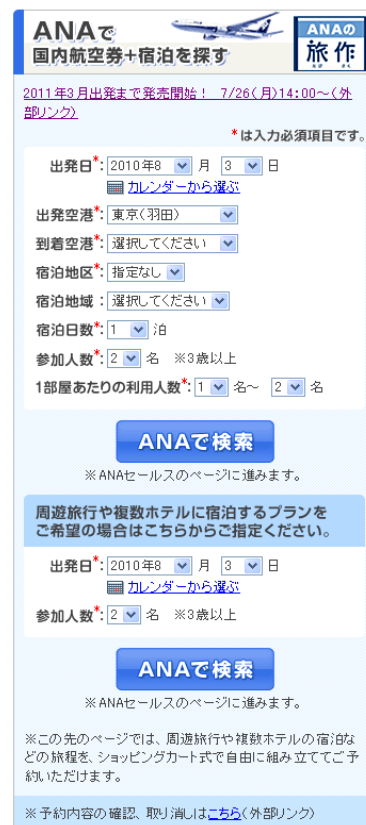


Yahoo!リスティング広告ページ

## 「Yahoo!トラベル」

ANAグループとの連携を開始。  
航空券や宿泊プランを自由に組み合わせて購入できるANAのダイナミックパッケージ（旅作）の予約取り扱いを開始しました。

[http://travel.yahoo.co.jp/domestic\\_dp/](http://travel.yahoo.co.jp/domestic_dp/)



ANAのダイナミックパッケージ予約画面



<http://latlonglab.yahoo.co.jp/service/map.html>

## 「Yahoo!地図」

新たな実験的プロダクトとして、大きく高精細な画面とマルチタッチスクリーンというiPadの特長を活かしたiPad専用のウェブ地図サービス「yubichiz」（ゆびちず）を公開しました。

## 「Yahoo!チャイナモール」

アジア最大の電子商取引企業グループであるアリババグループの「淘宝（タオバオ）」と、日本・中国間のインターネット通販市場の創出に向けた業務提携を実施。

日中の商品を相互販売するサイト

「Yahoo!チャイナモール」、「淘日本（タオジャパン）」をそれぞれ開設しました。

<http://chinamall.yahoo.co.jp/>



「Yahoo!チャイナモール」の商品画像



「お取り寄せグルメ選手権」エントリー商品

## 「お取り寄せグルメ選手権」

(株)セブン＆アイ・ホールディングスと共同で開催している「お取り寄せグルメ選手権」の特集ページを公開しました。

<http://otoriyose.yahoo.co.jp/>

## 「Yahoo!ゲーム」

PC向けソーシャルゲーム市場への参入を目的に(株)ディー・エヌ・エーと業務提携を行いました。

また、(株)スクウェア・エニックスとパソコン向けブラウザゲームで連携を開始しました。

<http://games.yahoo.co.jp/>



スクウェア・エニックスが開発するオンライン戦国シミュレーションゲーム「戦国IXA」





## その他、当四半期の主な取り組み 当四半期の主な社会貢献

### 「テレビ版Yahoo!ショッピング」

インターネット対応テレビで  
「Yahoo!ショッピング」の閲覧・  
利用を可能とする「テレビ版Yahoo!  
ショッピング」を公開しました。

<http://digitalhome.yahoo.co.jp/dtv/index.html>



「テレビ版Yahoo!ショッピング」



「Yahoo! JAPAN グリーンプロジェクト」

### 「Yahoo! JAPAN グリーンプロジェクト」

環境啓発を目的とした

「Yahoo! JAPAN グリーンプロジェクト」において、政府の推進する地球温暖化防止に向けた国民運動「チャレンジ25キャンペーン」と連携した『「25のアクション」CO2削減アイデア募集』の応募受付を行うなど、環境省との共同企画を展開しました。

<http://event.yahoo.co.jp/green/>

### 「個人政治献金サービス」

政治への関心と知識を深めるための公正な情報提供を行う「Yahoo!みんなの政治」において、「Yahoo!ウォレット」またはクレジットカード決済を通じて個別の政治家に献金することができる「個人政治献金サービス」を開始しました。

<http://event.yahoo.co.jp/kenkin/>



「個人政治献金サービス」

2010年6月24日に、東京国際フォーラムにて、  
当社の第15回定時株主総会を開催いたしました。



当日は、多くの株主の皆様にご来場いただきました。

代表取締役社長の井上が議長となり、映像を用いて事業報告および計算書類の概要のご報告を行い、決議事項の内容をご説明した後、当社の今後の成長戦略について、社長の井上よりプレゼンテーションいたしました。

また、質疑応答ではご出席いただいた株主の皆様よりご質問・ご意見を頂戴いたしました。

第15回定時株主総会にてご報告・ご説明いたしました内容を動画でご覧いただけます。

Yahoo! JAPANの2009年度の事業報告および今後の成長戦略を、動画でご覧いただけます。是非、ご覧下さい。

2009年度の事業報告はこちら

<http://ir.yahoo.co.jp/jp/archives/kinkyo/gaiyomovie.html>

成長戦略はこちら

<http://irstreaming.yahoo.co.jp/20100624/index.html>



**広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界**

金融・保険・証券  
百貨店、通販、ショッピングモール  
旅行、交通・レジャー

**広告売上高の増加額(前四半期比)が大きかった業界**

百貨店、通販、ショッピングモール  
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具  
旅行、交通・レジャー

	09/1Q	2Q	3Q	4Q	10/1Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	11.6%	12.0%	12.9%	12.9%	12.6%
旅行、交通・レジャー	7.5%	9.2%	6.8%	7.3%	8.0%
百貨店、通販、ショッピングモール	6.6%	6.4%	7.1%	6.4%	7.4%
医療、福祉/美容、健康サービス	7.8%	7.2%	6.9%	6.7%	7.0%
化粧品、生活用品、健康食品、健康器具	6.2%	5.9%	6.2%	6.1%	6.9%
不動産・住宅・住宅設備	6.5%	6.4%	6.3%	8.0%	6.1%
各種教育サービス・大学等	6.9%	6.6%	5.8%	6.8%	6.1%
情報処理サービス・ソフト会社、インターネット情報サービス	4.4%	4.8%	5.6%	5.7%	5.1%
ファッション・アクセサリ	4.0%	3.8%	4.6%	3.9%	3.9%
インテリア、ガーデニング、リフォーム、DIY用品	3.3%	3.0%	3.2%	3.0%	3.1%
各種人材サービス	3.3%	3.3%	3.0%	2.9%	3.0%
結婚、恋愛、冠婚葬祭サービス	2.6%	2.4%	2.5%	2.6%	2.8%
その他	29.3%	29.0%	29.1%	27.7%	28.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 今四半期より、分類カテゴリが変更になっています。2009年度のカテゴリ別売上高シェアは遡及修正しています

## Yahoo! リスティング広告、「クオリティセンター」を公開

Yahoo! JAPANは2010年6月22日、リスティング広告のクオリティ向上に向けた取り組みをまとめた「クオリティセンター」を公開しました。

広告掲載面(掲載パートナー)とそこに掲載される広告、その双方のクオリティに関するコンテンツを掲載している点が特色となっています。

Yahoo! JAPANでは今後も、インターネットユーザーによるクリックのクオリティなど、リスティング広告のクオリティに関する情報発信を継続的に行う考えです。

「クオリティセンター」

<http://listing.yahoo.co.jp/quality/>

プレスリリース

[http://listing.yahoo.co.jp/company/press/release/pre\\_062210.html](http://listing.yahoo.co.jp/company/press/release/pre_062210.html)







(参考資料)

## ディスプレイ広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界

自動車・関連品  
金融・保険・証券  
インターネット情報サイト・メールサービス

広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界

化粧品・トイレタリー  
飲料・嗜好品  
移動体通信サービス

	09/1Q	2Q	3Q	4Q	10/1Q
金融・保険・証券(含消費者金融)	13.2%	12.6%	14.9%	15.6%	14.9%
自動車・関連品(輸送用機器)	10.1%	13.0%	12.3%	14.6%	14.0%
不動産・建設	8.9%	10.2%	8.4%	10.6%	9.6%
化粧品・トイレタリー	12.2%	11.1%	9.2%	5.5%	8.8%
交通・レジャー	7.4%	6.2%	8.5%	7.6%	8.1%
飲料・嗜好品	7.2%	4.4%	4.7%	4.7%	5.3%
食品	4.1%	3.8%	3.7%	3.6%	5.2%
ファッション・アクセサリ	4.0%	4.3%	5.0%	3.3%	3.8%
移動体通信サービス	5.0%	3.9%	4.5%	5.7%	3.4%
インターネット情報サイト・メールサービス	1.7%	1.7%	2.2%	3.0%	3.0%
エンターテインメント系ソフト	2.1%	2.5%	2.6%	1.8%	2.9%
薬品・医療用品	2.1%	2.3%	2.4%	1.3%	2.4%
その他	22.0%	24.0%	21.6%	22.7%	18.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■上記は広告内容により分類しています

## 2010年度第1四半期 ディスプレイ広告 主要広告主

## 金融・保険・証券

アリコジャパン  
シティカードジャパン  
オリックス・クレジット

## 自動車・関連品

トヨタマーケティングジャパン  
日産自動車  
本田技研工業

## 不動産・建設

住友不動産  
大京

## 化粧品・トイレタリー

花王  
資生堂  
ディーエイチシー

## 交通・レジャー

全日本空輸  
東海旅客鉄道

## 飲料・嗜好品

アサヒビール  
サントリーホールディングス  
日本コカ・コーラ

## 食品

サントリーホールディングス

## ファッション・アクセサリ

リシュモン ジャパン  
ワコール

## 移動体通信サービス

KDDI  
ソフトバンクモバイル

## インターネット情報サイト・メールサービス

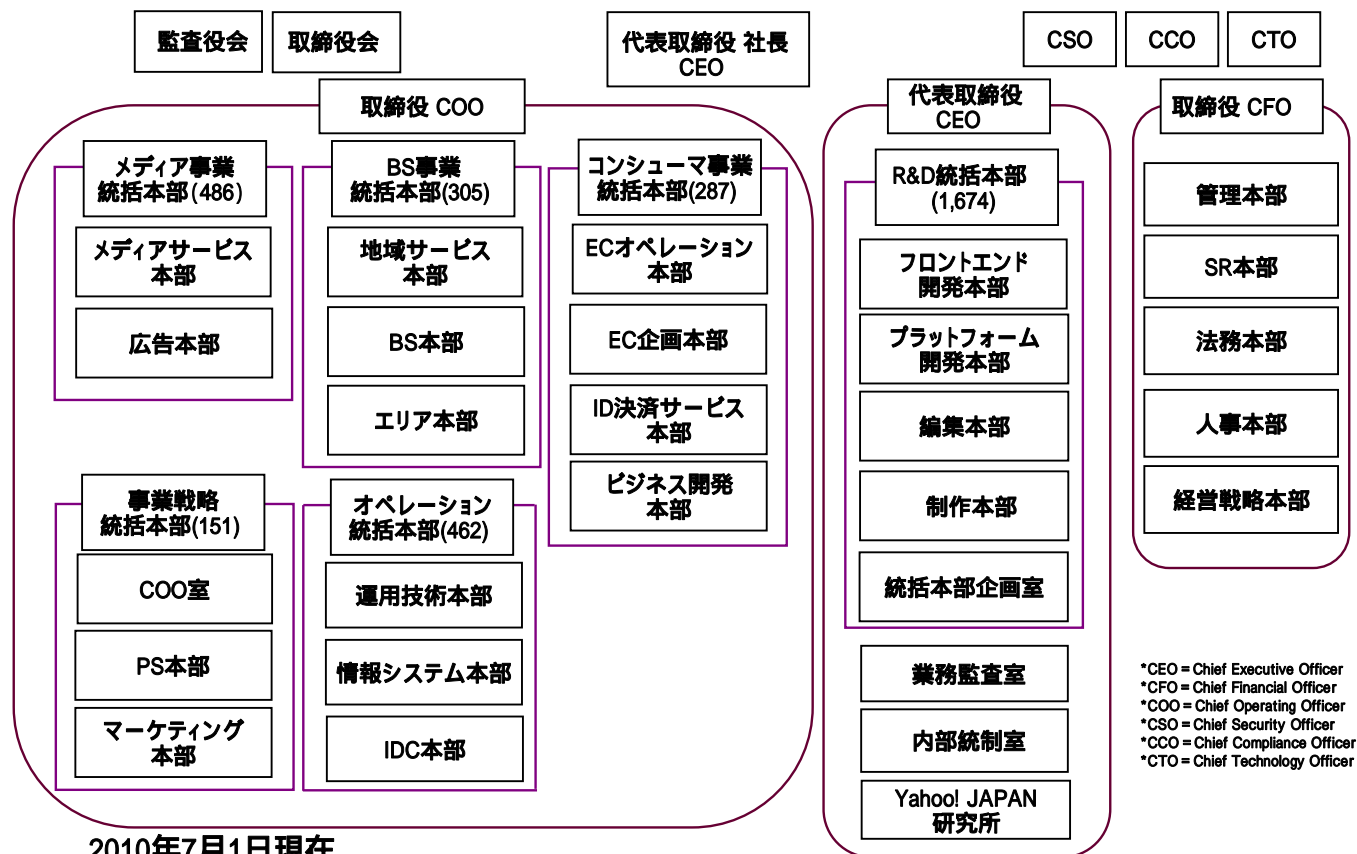
グリー  
ディー・エヌ・エー

■上記は広告内容により分類しています



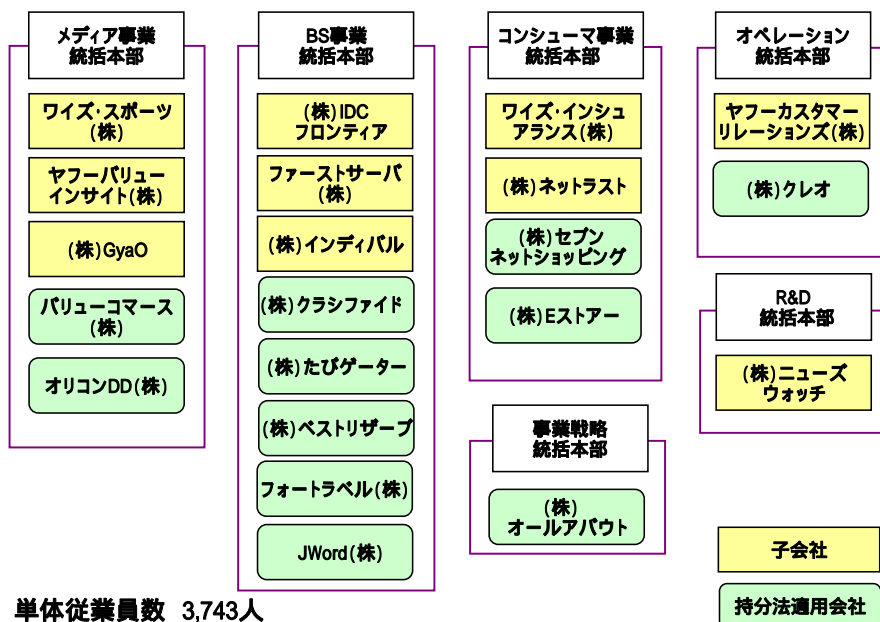
# 組織図およびグループ企業

## 組織図(単体ベース)



\*CEO = Chief Executive Officer  
 \*CFO = Chief Financial Officer  
 \*COO = Chief Operating Officer  
 \*CSO = Chief Security Officer  
 \*CCO = Chief Compliance Officer  
 \*CTO = Chief Technology Officer

## グループ企業



単体従業員数 3,743人  
 連結従業員数 4,981人 (2010年6月末現在)



## 株主メモ

決 算 期 : 毎年3月31日  
定時株主総会 : 毎年6月  
株主名簿管理人 : 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
0120-232-711 (通話料無料)  
公 告 方 法 : 電子公告  
ただし、事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に掲載いたします。

### ご案内

#### 【未受領の配当金について】

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせについては、上記連絡先(0120-232-711)へご連絡ください。

お手続きに関する詳細は、三菱UFJ信託銀行のホームページでもご確認いただけます。

・三菱UFJ信託銀行ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/> (外部サイト)

#### 【住所変更等、各種お手続きについて】

株券電子化に伴い、各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

決算のより詳しい内容をご覧になりたい方は、「平成23年3月期 第1四半期決算短信」をご覧ください。

<http://ir.yahoo.co.jp/jp/archives/gaikyo/>

資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は

「平成23年3月期 第1四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。